

放課後子ども広場

—放課後児童クラブとの校内交流型—

■校内交流型の概要

放課後子ども広場は、町内の小学校1年生・2年生の児童が対象です。保護者の就労に関係なく、下校時から保護者のお迎えまでの間（夕方5時まで）、本人と保護者がともに参加できる子供の居場所づくりを目的とした活動をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・曜日登録制の導入により、希望者全員参加可能です。
- ・希望すれば保護者も一緒に参加可能です。
- ・地域ボランティアの支援を積極的に活用しています。
- ・扶桑町文化祭作品展に「広場作品」として全員出品します。

■校内交流型で実施するプログラム内容

マジックショーなど

■課題

コロナ禍における規制を緩和したことで、子ども広場の活動内容が個別の遊びから、友達と関わっての遊びになった。コミュニケーションがうまくとれない時に友達とトラブルになることがある。また従来のように集団遊びを楽しめる環境になることが課題である。

■成果

学校や地域の温かい支援を受けて、のびのびと活動することができています。また、ボランティアの支援により、日頃の授業では体験できないことを体験することができています。

1年生から2年生に進級する時、多くの子供たちが継続を望んでいます。

■活動の様子



■開催状況

平日5日

■参加人数

4施設合計で平均145人/日

■主な活動場所

普通教室、公民館など

■指導員数

4施設合計で平均15人/日